



プレスリリース

令和6年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力： ヴァナゾール市ホスピタリティ・サービス職業訓練センター設立計画 贈与契約署名式の実施

エレバン：令和6年10月1日

令和6年10月1日、草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）2024年度の枠組みにおける「ヴァナゾール市ホスピタリティ・サービス職業訓練センター設立計画」（供与限度額：102,957米ドル）の贈与契約署名式が、ロリ州ヴァナゾール市で開催されました。

本式典では、青木豊駐アルメニア日本国大使とアルピネ・ハコビャン「NGOセンター」市民社会発展NGO代表との間で贈与契約への署名が行われ、ホヴァネス・アヴェティシヤン副州知事、その他地方行政職員や本案件関係者が出席しました。

本案件は、ロリ州ヴァナゾール市にホスピタリティ・サービス産業のための職業訓練センターを設立することを目的としており、総面積528平方メートルの3階建ての建物が建設されます。本案件の実施により、地域住民やナゴルノ・カラバフの避難民を含む年間約100人が、料理、ホスピタリティ、その他のサービス関連スキルの職業訓練を受けることができるようになります。これにより、観光セクターにおける熟練労働者の不足に対処し、雇用機会を促進し、地域の持続可能な経済成長に貢献します。



贈与契約に署名する
青木大使とハコビャン代表



署名完了後の
青木大使とハコビャン代表



NGOセンター関係者との記念撮影



職業訓練センター完成予定図